

# 教育

edu@asahi.com

日曜～火曜掲載

世界の日本語学習者が書いた5万編近くの作文から112編を選んだ本「ユニークな『日本文化』論」(朝日新聞出版)を、各地の高校に送る活動が進んでいる。始めたのは、東京都立川市に住む大森和夫さん(80)、弘子さん(80)夫妻。2千校に贈りたいといい、寄付を募っている。

大森さん夫妻は二人で「国際交流研究所」をつくり、留学生や中国の大学生・大学院生、世界の日本語学習者を対象に「日本語作文コンクール」を1989年から24回、行ってきた。

応募作文は72万国・地域の4万6922編に上り、その入賞作文から64万国・地域の112編Ⅱ表Ⅱを選んで本として自費出版した。「本に登場した一人ひとりが、それぞれの国と日本との友好の核となってくれば」と和夫さん。

## 日本文化 世界の作文で見つめ直そう

### 東京の夫妻 各地の高校に寄贈



本の郵送作業をする大森弘子さん(大森和夫さん提供)

#### ■「ユニークな『日本文化』論」の主な作文の題と作者の国籍

- ・「広島の夕焼け」に「平和」を想う (ベトナム)
- ・伝えたい! 「日本人の働き方」 (ミャンマー)
- ・日本人は、自分の意見をもっと積極的に! (中国)
- ・日本人の「言葉の温かさ」 (韓国)
- ・「戦争の歴史」が静止した場所 (サンマリノ)
- ・日本人は、ほんとうに無宗教なのですか (イラン)
- ・低すぎる女性の社会的地位 (ドイツ)
- ・素晴らしい「お握り」の国 (エジプト)
- ・「孤独な」日本人 (ロシア)
- ・「ニコニコ顔」の裏側は? (ベネズエラ)

さらに高校生に、日本を見直し世界に目を向けてほしいと、9月から各地の高校に1冊ずつ郵送する取り組みを開始。10月末までに1228校に送った。寄付は現在、約80万円集まっているが、本代には足りず、本の3分の2は自腹で送っている。

本は2200円。寄付は一口5千円で12月31日までに、三菱UFJ銀行上石神井支店の口座(普通3514185、名義は国際交流研究所)に振り込む。活動は同研究所のホームページ(<http://www.nihonwosiru.jp/>)で紹介している。(編集委員・氏岡真司)